

学年	原典 ページ	行	変更 事項	変 更 内 容	備 考
1 年	10		変更	「ノートをつくり方」については、ノートをつく るときのポイントを先に列挙したあと、ノートの例 を示した。また、ノートの例は点字で書けるように 次のように変更した。 (ノートの例 1) 4 月 30 日 (水) 教科書 p メ (トライ 3) $(-7) + (+3) + (+7)$ (自分の考え) 0 になる部分を先に計算した。 $(-7) + (+3) + (+7)$ $= (-7) + (+7) + (+3)$ $= 0 + (+3)$ $= +3$ *加法の交換法則 (ひびきさんの考え) +10 になる部分を先に計算した。(10 は計算し やすいから。) $(-7) + (+3) + (+7)$ $= (-7) + (+10)$ $= + (10 - 7)$ $= +3$ *加法の結合法則 (ノートの例 2) 6 月 16 日 (月) 教科書 p メ (トライ 3) $(2x + 3) - (3x - 2)$ $= 2x + 3 - 3x - 2$ $= 2x - 3x + 3 - 2$	編集の具体的内容(3)① ③ ノートの日付について、 原典教科書は伏字となっ ているが、点字の場合、 メの字を伏字として用い た場合と数字ではその後 のマス空けが異なるた め、仮の日付を入れた。 また、教科書のページも 「p メ」とした。

			$= -x + 1$ 訂正 $(2x + 3) - (3x - 2)$ $= 2x + 3 - 3x + 2$ $= 2x - 3x + 3 + 2$ $= -x + 5$ (符号をまちがえた。この前もまちがえたから注意する。)	
11	図	変更	数直線が目盛りの数値は、読み取りやすさを考慮し、0, 0.1, 0.2, 0.5, 1のみとした。分数は小数の下に示した。	編集の具体的内容(3)①②
11	13 15	変更	(例2)(例3)の計算において、原典教科書では先に計算する部分に囲みがあるが、点字教科書では囲みを省略した。それに伴い、(例3)ではイコールのあとの 15×20 をカッコに入れた。	編集の具体的内容(3)①
12	写真 10	削除 変更	写真を削除し、まなとのセリフを次のように変更した。 まなと「綾瀬駅（東京都足立区）の標識に海拔-0.2mという-のついた数があったよ。」	編集の具体的内容(3)①
13	写真 5	削除 変更	写真を削除し、予想最高気温を表として示した。また、表の内容が分かるようにかんなのセリフを次のように変更した。 かんな「天気ニュースや国内のべ旅行者数を表す表に-のついた数が出ていたよ。」	編集の具体的内容(3)①②
14	3～ 7 絵	変更	予想最低気温を示した絵を表に変更した。また、表の位置や問いをまとめて分かりやすくするために、3～4行目の文を次のようにトライ2の一部とした。 トライ2 次の表4は、3月のある日の5か所の予想最低気温を示したものです。予想された最低気温を、気温の高い順に並べてみましょう。	編集の具体的内容(3)③
15	図	変更	整数を表した図について、ベン図ではなく数直線で表した。	編集の具体的内容(3)①
16	写真 図	削除 変更	トライ3や例1、問3の写真を削除し、文章中に名称を入れた。トライ3の図について、構造が分か	編集の具体的内容(3)①②

			るように点図化した。	
18	図 10	削除 変更	ひびきのセリフに対応する数直線については、トライ 1 の図を利用できるため変更した。それに伴い、ひびきのセリフを次のように変更した。 ひびき「図 6 の数直線を右にのばせばいいんじゃない？」	編集の具体的内容(3)①
18	図	変更	数直線を左側に延長する図について、点線は触って分かりづらいことと、トライ 1 で提示された数をすべて数直線上で確かめられるようにすることを考慮し、-2 から +7 までの目盛りが入った数直線とした。	編集の具体的内容(3)①
19	図	変更	1 目盛りが 0.5 の数直線については、目盛りを触りやすい大きさとするため、横書きとした。 以下、同種の数直線は同様のかき方とした。	編集の具体的内容(3)②
19	5	変更	「書き入れましょう」は、「印をつけましょう」と修正した。印をつけられるように、触りやすい目盛りの大きさとした。 以下、同種の課題は同様に変更した。	編集の具体的内容(3)③
22	図	削除	まとめの右の図について、まとめの中で言葉で説明されている内容と同じであるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
23	7	変更	「数直線にかき入れてみましょう。」を「数直線に表してみましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
23	9 図	変更 削除	かんなとまなとのセリフを次のように変更し、セリフのあとの図を削除した。 かんな「P の場所が人によって変わるね。」 まなと「移動するようすを、目盛りをたどって考えてみよう。」	編集の具体的内容(3)③
26	2	変更	トライ 2 を次のように変更し、右の枠囲みの式を問題文のあとに入れた。 次の計算は、ここまでに学んだ加法の例です。 これを読んで、数直線を使わずに和を求める方法について考えましょう。 $(+2) + (+3) = +5$...	編集の具体的内容(3)③
26	17	変更	まとめの右に図式化されたものを次のように変更した。 (メモ)	編集の具体的内容(3)①

			$(+4)+(-1)=+(4-1)$ この式では、絶対値が大きいのは、 $+4$ なので、 2つの数の和の符号は、 $+$ となる。2つの数の和の 絶対値は、大きい方から小さい方を引くとよいの で、 $(4-1)$ となる。 $(-5)+(+3)=- (5-3)$ この式では、絶対値が大きいのは、 -5 なので、 2つの数の和の符号は、 $-$ となる。2つの数の和の 絶対値は、大きい方から小さい方を引くとよいの で、 $(5-3)$ となる。										
27	2	変更	●は (⋮) で表した。	編集の具体的内容(3)①									
27	15	変更	問5の表は次のように変更した。 表5 (注)「みかさん」は、みかさんが引いたカード 「まなとさん」は、まなとさんが引いたカード <table><tr><td></td><td>みかさん</td><td>まなとさん</td></tr><tr><td>1</td><td>まいめ スペード1</td><td>ダイヤ3</td></tr><tr><td>2</td><td>まいめ ハート7</td><td>ハート2</td></tr></table>		みかさん	まなとさん	1	まいめ スペード1	ダイヤ3	2	まいめ ハート7	ハート2	編集の具体的内容(3)②
	みかさん	まなとさん											
1	まいめ スペード1	ダイヤ3											
2	まいめ ハート7	ハート2											
30	3	変更	例1の右の囲みの中を、次のようにルーのセリフ とし、例1のあとに入れた。 ルー「正の数をひくということは、負の数をたすこ となんだね。」	編集の具体的内容(3)①									
30	7	変更	例2の右の囲みの中を、次のようにルーのセリフ とし、例2のあとに入れた。 ルー「負の数をひくということは、正の数をたすこ となんだね。」	編集の具体的内容(3)①									
33	1	削除	正の項と負の項を示した図式について、本文に言 葉による説明があるため削除した。	編集の具体的内容(3)①									
34	10	変更	例2の式変形の右側に矢印でかかれたコメント は、式と式の間に、()で入れた。 以下、同種のものは同様に変更した。	編集の具体的内容(3)①									
36 37	12	変更	問1・問2の表は、原典教科書 p 38 のトライ 1 において、完成させた表を用いて考えることとな る。そのため、□の部分の数値を入れるだけでな く、表全体を完成させる必要があると考え、問題文 の「表を完成させましょう。」を「表を作成しまし ょう。」と変更した。	編集の具体的内容(3)③									

38	3	削除	トライ 1 の表を削除し，問 1 ・問 2 で完成させた表を参照させることとした。	編集の具体的内容(3)③
40	6	変更	かなとひびきの計算について，原典教科書では先に計算する部分に下線が引かれているが，点字教科書では下線を省略し，次のように表した。 かな「前から順番に計算したよ。」 $(+12) \times (-2) \times (+5)$ $= \square \times (+5)$ $= \square$ ひびき「うしろから計算したよ。」 $(+12) \times (-2) \times (+5)$ $= (+12) \times \square$ $= \square$	編集の具体的内容(3)③
42	8	削除 変更	緑の囲みの中の符号の式について削除し，ルーのセリフを次のように変更した。 ルー「$(-) \times (-)$は$(+)$になるね。$(+)$と$(+)$をかけても$(+)$になるね。」	編集の具体的内容(3)①
44	4 8	追加	(Q)の式と先生のセリフの右にある式を対応させるため，それぞれに 1. 2. をつけた。	編集の具体的内容(3)①
45	6	変更 追加	点字の表記について，次の説明を追加した。また，墨字の表記について，図を挿入した。正方形と立方体の図を削除し，ルーのセリフで表した。 5^2と表したときの 2 や，7^3と表したときの 3 は，かけ合わせた同じ数の個数を表している。この個数を表す「⠠⠨⠶」の次にかいた数を「指数」という。 点字では，特に 2 乗と 3 乗を表すために，それぞれ「⠠⠨⠶」「⠠⠨⠼」という記号が定められており，5 の 2 乗は ⠠⠨⠶⠠⠨⠶⠶，7 の 3 乗は ⠠⠨⠼⠠⠨⠼⠶ と簡単に表すことができる。 墨字では，5×5 のことを次のように書き，かけあわす数の右かたに小さく指数をことになっている。 5^2 (メモ) $5 \times 5 = \text{⠠⠨⠶⠠⠨⠶⠶}$ 指数は 2	編集の具体的内容(3)① ④

			$7 \times 7 \times 7 = \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot \cdot$ 指数は3 ルー「 1 m^2 は、1辺が1 mの正方形の面積で、 1 m^3 は、1辺が1 mの立方体の体積だったね。 m^2 は平方メートル、 m^3 は立方メートルと読んだ ね。」	
47	5	変更	約分の仕方を表した囲みについて、点字では原典教科書のように数字の上に斜線を入れることはできないため、次のように表した。なお、約分についてはこれ以降も同様に表した。 $4 \times \frac{5}{2} \times \frac{3}{5} = \frac{4 \times 5 \times 3}{1 \times 2 \times 5} = \frac{2 \times 1 \times 3}{1 \times 1 \times 1}$	編集の具体的内容(3)①
50	図	削除 変更	整数と自然数の集まりを示す図を削除し、次のように表した。 (メモ) 2, 3は自然数。 $3 - 2$ の結果は1なので、自然数の範囲に入る。 $2 - 3$ の結果は-1なので、自然数の範囲には、入らず整数の範囲に入る。	編集の具体的内容(3)①
51	図	削除 変更	すべての数、整数、自然数の集まりを示す図を削除し、次のように表した。 (メモ) 8と2は自然数で、 $8 \div 2$ の結果は4なので、結果も自然数の範囲に入る。 3と-1は整数で、 $3 \div (-1)$ の結果は-3なので、結果も整数の範囲に入る。 7 と3は整数で、 $7 \div 3$ の結果は $\frac{7}{3}$ なので、結果は整数の範囲に入らず、すべての数の範囲となる。	編集の具体的内容(3)①
51	図	変更	すべての数、整数、自然数の集まりを示す図について、数を省略し、言葉だけを入れて点図化した。また、ルーのセリフのあとに次のように(メモ)を追加した。 (メモ) 自然数の集合には、1 2 3 … がふくまれている。 整数の集合には、自然数の他に 0 -1 -2 -3 … がふくまれている。	編集の具体的内容(3)①

			すべての数の集合には、整数の集合の他に -2.4 $-\frac{2}{3}$ $\frac{8}{5}$ 3.14 などがふくまれている。	
51	13	変更	自然数に関する補足について、次のようにルールのセリフとして、上記の（メモ）のあとに入れた。 ルール「自然数は、整数の集合にも、すべての数の集合にもふくまれるよ。」	編集の具体的内容(3)①
51	18	変更 追加	問5について、○と×については、マル、バツと表記した。「いつでもできるときは○を、いつでもできるとは限らないときは×を、右の表にかき入れましょう。」を「いつでもできるときはマルを、いつでもできるとは限らないときはバツを入れ、次の表を完成させましょう。」に変更した。 また、表も次の（注）を追加した。 （注）自然数の加法の欄のマルは、自然数どうしの和は自然数になるということを表しており、減法の欄のバツは、差は自然数になるとは限らない、ということを表している。	編集の具体的内容(3)②
53	13	変更	素因数分解のかき方について、次のように、墨字の場合と、点字でかく場合の説明に変更した。 （メモ） 墨字では、次のア. のような筆算で計算するが、点字では、イ. のようにして計算する。 イ. 84 2 42 2 21 3 7	編集の具体的内容(3)⑥
54	4～ 15	変更	斜線を付ける代わりに、シールを貼る方法に変更し、残った数には○を付けず、「残った数が素数」という説明に変更した。	編集の具体的内容(3)①③
54	写真	削除	エラトステネスの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
55	図	変更	50回を基準として平均を求める図について、2種類の棒グラフが示されているが、左のグラフの縦軸に50と54を入れた上で、それぞれ横線をかいた図のみにまとめた。p56のグラフも同様とする。	編集の具体的内容(3)① 50よりはみ出た部分をならすということを、図を触りながら確認するとよい。
56	絵	削除	p56の絵をすべて削除した。	編集の具体的内容(3)①

56	図	削除 変更	まなどのセリフのあとの図を削除し、かんなのセリフのあとの図について、縦軸に 40 回を入れ、横線をかく。また、でこぼこの真ん中あたりにも横線を入れた。まなどのセリフについても、この図を利用するとよい。	編集の具体的内容(3)①
58	図	削除	3 について、温度計の図で示されている気温は、問題文の内容と同じであるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
59	図	変更	3 において、トランプは図示せず、言葉で示した。	編集の具体的内容(3)①
60	写真 絵	削除 変更	地球儀の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
60	4 ～ 18	変更	表の中で地名(国名)が 1 行に 2 か所ある場合は、読みやすいように 1 行に 1 か所に変更した。それに伴い、2 行が同じ時差を示している部分も生じた。	編集の具体的内容(3)②
60	絵	削除 変更	時差を示す絵を削除し、次のような説明を入れた。 例えば、グリニッジ標準時が午前 10 時であれば、東京(日本の標準時)は午後 7 時となります。	編集の具体的内容(3)①
62	絵	削除	庭の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
62	11	変更	「うめましょう。」は「完成させましょう。」に変更し、表は紙面の関係で縦と横を入れ替えた。	編集の具体的内容(3)③
62	16	削除	Note の内容は、墨字の文字に関する内容なので削除した。	編集の具体的内容(3)①
63	図	変更	石を並べている図は、囲みを図で示すと複雑になるため、外側に区切りを示す線を入れた。 以下、同様に表した。	編集の具体的内容(3)①
63	12	変更	図の囲みを省略し、外側に区切り線を入れることにしたため、かんなとひびきのセリフの「囲んでみたよ」「囲んでも」をそれぞれ、「分けてみたよ」「分けても」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
64	図	削除	例 1 の正三角形の図について、言葉でイメージできるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
64	19	変更	問 2 のルーのセリフを次のように変更した。 ルー「関係がわかりにくいときは、図をイメージして考えてみよう。」	編集の具体的内容(3)③
65	写真	削除	阿蘇山の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
65	12	削除	Note の内容は、墨字の文字に関する内容なので削除した。	編集の具体的内容(3)①

69	図	変更 削除	例2の立方体の図を削除し，1. に次の説明を加えた。 (1辺が $a\text{ cm}$ の立方体の体積は $a^3\text{ cm}^3$)	編集の具体的内容(3)①
70	写真	削除	砺波チューリップフェアの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
72	図	削除	問5の図について，問題文に必要な情報が書かれているため削除した。	編集の具体的内容(3)①
73	写真	削除	谷川岳の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
74	1	変更	囲みを，次のように文章で表し，「…式の値という。」のあとに続けた。 $x-12$ の x に 25 を代入すると， $25-12=13$ 式の値は 13 となる。	編集の具体的内容(3)①
74	6	削除	例1の囲みについて，例1の式変形と同じ内容であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
75	4	削除	例3の囲みについて，例3の式変形と同じ内容であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
75	写真	削除	猪名川花火大会の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
77	8	削除	(Q)の囲みについて，本文と同じ内容であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
78	21	変更	原典教科書では，「次の例のようにまとめることができる。」のあと，すぐに例2と続くが，点字教科書では，この文のあとに右側の囲みの内容を(メモ)として挟み，その後に例2となるため，「あとの例2のようにまとめることができる。」と変更した。	編集の具体的内容(3)①
79	14 図	削除	例3の囲みについて，式変形と同じ内容であるため削除した。また，そのあとの図についても，ルーのセリフと同じ内容であること，さらに点字の場合，図で理解するということは負担が大きいこともあるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
80	5	変更	筆算について，ルーのセリフを次のように変更した。また，筆算は上下に式を確認しなければならず，点字を読む向きと異なるため，式の前に(筆算)と入れた。 ルー「次のように2つの式を縦に並べて，計算することもあるよ。」	編集の具体的内容(3)⑥
80	16	追加	例5の筆算については，上下に並んでいる式を左右に配置した。また，次のようにルーのセリフを追加した。	編集の具体的内容(3)⑥

			ルー「2つの式を縦に並べて計算する場合には、次のア.の筆算をイ.の筆算のように考えることができるよ。」	
82	15	追加	分数の約分について、約分できる数の組がわかるよう、次のように式変形の途中に追加した。 以下、約分については同様に追加した。 $12x \div 4$ $= \frac{12x}{4}$ (分子の12と分母の4をそれぞれ約分する) $= \frac{3x}{1} = 3x$	編集の具体的内容(3)①
84	4	削除	例3の囲みについて、本文と式変形で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
84	17	追加	例4の囲みについて、分数の約分の過程がわかるよう、次のように加筆した。 $(6x - 12) \div 3$ $= \frac{6x - 12}{3}$ (分子の6x, 12と、分母の3をそれぞれ約分する) $= \frac{2x - 4}{1}$ $= 2x - 4$	編集の具体的内容(3)①
85	3	追加	かんなとひびきの計算の分数の約分について、計算の途中経過が分かるように加筆した。 かんなの考え $\frac{12x - 9}{6} \times 10$ $= \frac{2x - 9}{1} \times 10$ $= (2x - 9) \times 10$ $= 20x - 90$ ひびきの考え $\frac{12x - 9}{6} \times 10$	編集の具体的内容(3)①

			$= \frac{12x-9}{3} \times 5$ $= 12x - 9 \times \frac{5}{3}$ $= 12x - 15$	
85	7	追加	例 5 の囲みについて，分数の約分の経過が分かるように加筆した。 $\frac{4x+1}{2} \times 6$ $= \frac{(4x+1) \times 6}{2}$ $= \frac{(4x+1) \times 3}{1}$	編集の具体的内容(3)①
85	13	変更	例 6 の右に示された手順について，次のようにルーのセリフで示した。 ルー「次のような手順で計算するといいね。」 1. かっこをはずす。 2. 同じ文字の項どうし，数の項どうしを，それぞれまとめる。	編集の具体的内容(3)①
87	写真	削除	伊賀流忍者博物館の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
88	絵	削除	トライ 1 の絵を削除した，	編集の具体的内容(3)①
89	9	変更	左辺・右辺・両辺を示した図式について，次のような文章に変更した。 (メモ) 等式 $3x + 160 = 1000$ の 左辺は $3x + 160$，右辺は 1000， 両辺は $3x + 160$，1000	編集の具体的内容(3)①
90	図	削除	例 2 については，文章で理解できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
90	囲み	変更	左辺・右辺・両辺を示した図式について，次のような文章に変更した。 (メモ) 不等式 $3x + 160 < 1000$ の 左辺は $3x + 160$，右辺は 1000， 両辺は $3x + 160$，1000	編集の具体的内容(3)①
94	絵	削除	図書だよりの絵は削除した。	編集の具体的内容(3)①
94	6	変更	原典教科書では，5月と6月の表をそれぞれ示し	編集の具体的内容(3)①

			ているが、点字教科書で2つの表として示すと、表の枠開きと枠閉じが入り、2つの表を比較しづらくなる。そのため、次のように1つの表とした。 (注) 数値は前の月からの比較 <table><thead><tr><th></th><th>5 月</th><th>6 月</th></tr></thead><tbody><tr><td>1 年生</td><td>増減なし</td><td>5 % 増</td></tr><tr><td>2 年生</td><td>10% 減</td><td>20% 増</td></tr><tr><td>3 年生</td><td>30% 増</td><td>20% 減</td></tr></tbody></table>		5 月	6 月	1 年生	増減なし	5 % 増	2 年生	10% 減	20% 増	3 年生	30% 増	20% 減	
	5 月	6 月														
1 年生	増減なし	5 % 増														
2 年生	10% 減	20% 増														
3 年生	30% 増	20% 減														
96	1	変更	本文を次のように変更し、レシートをあとのように示した。 テーブルに、かんなさんのお姉さんが買ってきた紅茶とケーキの箱、それから次のようなレシートがあります。(⠠⠠⠠⠠⠠⠠ はかすれて読めない部分) _____ Sweet Shop チーズケーキ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 円 (単価 250 円×⠠⠠⠠⠠⠠⠠) 紅茶セット 650 円 (単価 650 円×1) 小計 1900 円 _____	編集の具体的内容(3)①												
97	6	変更	方程式を解くことを図式化した囲みを、次のように表した。 (メモ) 方程式 250 x + 650 = 1900 を 解くと、x = 5 になる。 方程式の解は5である。	編集の具体的内容(3)①												
100	絵 1	削除 変更	天びんの絵を削除し、本文を次のように変更した。 天びんでは、角砂糖1個がおもりとつり合った状態になれば、角砂糖1個の重さがわかる。	編集の具体的内容(3)①												
100	16	削除	Note の内容は、墨字でのかき方に関する内容なので削除した。	編集の具体的方針(3)③												

102	4	変更	トライ 1 について、ひびきの式変形を次のように示した。 ひびきさんは、方程式 $x - 3 = 7$ を次のように解きました。 どのように考えて、解いたのでしょうか。 (ひびきの解答) $x - 3 = 7$ $x = 7 + 3$ $x = 10$	編集の具体的内容(3)①
102	10	削除	先生のセリフの横の囲みについて、ひびきの解答の中の式変形と同じであるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
102	13	変更	$x - 3 = 7$ と $x + 5 = 1$ を解く過程を示した囲みの内容を、「…解く過程を示したものである。」のあとに入れた。また、式番号①と②は③と④に変更した。	編集の具体的内容(3)①
103	1	変更	移項に関する囲みを、次のように表した。 (メモ) $x - 3 = 7$ (-3を移項) $x = 7 + 3$ $x + 5 = 1$ ($+5$を移項) $x = 1 - 5$	編集の具体的内容(3)①
103	8	削除	例 1 の囲みについて、例 1 と同じ内容であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
103	16	削除	例 2 の囲みについて、例 2 と同じ内容であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
104	1	削除	例 3 の囲みについて、例 3 と同じ内容であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
107	9	変更	(やってみよう)の囲みについて、1 行目から 2 行目にかけての矢印①を削除し、2 行目の式を①とした。	編集の具体的内容(3)①
108	絵	削除	(Q)の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
109	6	削除	囲みの中の図式は、本文とルーのセリフの内容を同じであるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
109	13	削除	まとめの横の囲みについて、まとめの内容と同じであるため削除した、	編集の具体的内容(3)①

111	3	変更	(Q)の内容を，原典教科書 p96 と同じように変更した。	編集の具体的内容(3)①
111	10	変更	解答例を左ページ，問題を解く手順を右ページに配置し，手順と解答例を見比べられるようにした。	編集の具体的内容(3)①
112	絵 図	削除 変更	例 1 の絵を削除し，テープ図を線分図に変更した。	編集の具体的内容(3)①
113	絵 図	削除 変更	例 2 の絵を削除し，テープ図を線分図に変更した。	編集の具体的内容(3)①
113	絵	削除	問 3 の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
114～ 115	図	削除 変更	例 3 において，図を削除し，先生と生徒のセリフを次のように変更した。 先生「まず，問題文に書いてある情報を整理しましょう。」 みか「兄が家を出たとき，妹は 5 分間先に歩いた分だけ，先にいます。妹は 5 分間で (60×5) m 進みますね。」 まなと「それから兄が追いつくまでは，2 人とも同じ時間だけ移動して，少しずつ差が小さくなっていくね。兄が出発してから 1 分後に，妹は $(5 + 1)$ 分間で (60×6) m 進み，兄は 1 分間で (90×1) m 進むよ。」 かな「家を出てから兄が追いつく場所まで，2 人が進んだ道のりは等しいよね。これで方程式が作れそう。」 ルー「兄が出発してから x 分後に妹に追いつくとしたときに，次の表 4 の空らんにあてはまる式を考えよう。」	編集の具体的内容(3)①
116	絵	削除	トライ 1 の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
119	絵	削除	4 の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
120	絵	削除	ジョギングをしている絵をすべて削除した。	編集の具体的内容(3)①
122	写真	削除	貯金箱の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
122	図 10	削除 変更	硬貨の図を削除し，かなのセリフを次のように変更した。 かな「私が取り出した硬貨は，1 円硬貨 2 枚，5 円硬貨 4 枚，10 円硬貨 2 枚，50 円硬貨 2 枚，100 円硬貨 2 枚だったよ。」	編集の具体的内容(3)①

123	7	追加	トライ 1 の表のうち、右の表のみタイトルがないため、「硬貨の重さ」というタイトルを追加した。	編集の具体的内容(3)③
123	図 11	削除 変更	硬貨の図を削除し、次のかんなのセリフを次のように変更した。 かんな「ほかにもいろいろな硬貨の組み合わせがあるよ。」	編集の具体的内容(3)①
124	絵 図	削除 変更	貯金箱の絵を削除した。また、硬貨の図および表の枠を削除し、次のように文章化した。 たとえば、1 円硬貨 1 枚、5 円硬貨 2 枚、10 円硬貨 1 枚、50 円硬貨 1 枚、100 円硬貨 1 枚だと 20.8 g となるが、1 円硬貨 3 枚、10 円硬貨 2 枚、50 円硬貨 1 枚だと 16 g となる。	編集の具体的内容(3)③
125	図	削除	例 1 の正方形と長方形の図について、文章から正方形や長方形をイメージできるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
125	絵	削除	(Q)の水そうの絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
126	14～ 19	変更	不等式による変域の表し方の表を削除し、次のように変更した。また、変域を表す図を点図で表し、文章と図を見開きで見られるように配置し、図の前に「数直線の○はその点をふくまないことを、●はその点をふくむことを表す。」と入れた。 1. $x > 0$ x が 0 より大きい (0 をふくまない)。(図 1 1.) 2. $x \geq 0$ x が 0 以上 ($x > 0$ または $x = 0$) (図 1 2.) 3. $x < 15$ x が 15 より小さい (15 をふくまない), x が 15 未満 (図 1 3.) 4. $x \leq 15$ x が 15 以下 ($x < 15$ または $x = 15$) (図 1 4.) 5. $0 \leq x \leq 15$ x が 0 以上 15 以下 (図 1 5.)	編集の具体的内容(3)①
127	表 8	削除 変更	みか、ひびき、まなと、かんなのセリフのあとの表を削除し、みかとひびきのセリフを次のように変更した。 みか「 $x = 1$, $y = 7$ を基準に考えてみよう。 x の値が 2 倍, 3 倍, …になると, y の値はどうなっているのかな。」	編集の具体的内容(3)①

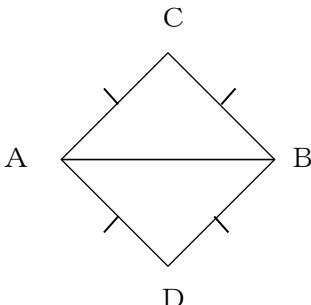
			ひびき「 $x = 2$, $y = 14$ を基準に考えてみよう。みかさんが見つけたことは、ほかのところでも成り立つかな。」	
128	図	削除	囲みの比例の式の説明について、本文と同じ内容であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
128	図 22	削除 変更	例1の長方形の図を削除し、「右の図のような直方体」を「縦10 cm, 横20 cm, 高さ12 cmの直方体」と変更した。	編集の具体的内容(3)①
129	12～ 15	削除	ひびきとみかのセリフのあとの表は、前出の表で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
132	図	変更	座標平面を説明する図について、ここで学習する座標軸と原点を強調するため方眼を削除し、座標軸、座標軸上の目盛り、原点のみの図とした。	編集の具体的内容(3)①
132	図	削除	座標の表し方を示した囲みについて、本文と同じ内容であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
133	12	削除	ルーのセリフについて、点字で表現しづらいため削除した。	編集の具体的内容(3)①
135	6	変更	問2の「かき入れましょう」を「印しましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
134	図	変更	グラフ用紙は、1目盛りが1.5 cm程度の大きさになるよう $-3 \leq x \leq 3$, $-6 \leq y \leq 6$ の範囲のみとした。 以下、グラフ用紙はできるだけ1目盛り1.5 cm程度になるようにした。	編集の具体的内容(3)②
136	図	削除	問3について、グラフをかき込んだり、印をつけたりする作業を教科書の紙面で行うことは難しいため、グラフ用紙を削除した。	編集の具体的内容(3)① ③ 生徒に応じてグラフ用紙を準備することが望ましい。
136	12～ 19	変更 削除	(調べよう)のノートを削除し、次のように表し。ルーのセリフのあとに入れた。 (ノート) 比例の式と表とグラフ 1. $y = 2x$ (1) 比例定数は2 (2) y は x を2倍したもの (3) x が1増えると、 y が2増える。 (4) グラフでは、右に1, 上へ2いったところに点がとれる。 2. $y = -2x$	編集の具体的内容(3)①

			(1) 比例定数は-2 (2) yはxを-2倍したもの (3) xが1増えると、yが2減る。 (4) グラフでは、右に1、下に2いったところに点がとれる。	
137	図	変更	例2と問5のグラフについて、触って読み取りやすいことを重視し、(1)～(4)のグラフを1つずつの点図とした。	編集の具体的内容(3)②
138	図	削除	3について、グラフ用紙を削除した。	編集の具体的内容(3)①③
138	図	変更	4について、触って読み取りやすいことを重視し、(1)～(3)のグラフを1つずつの点図とした。	編集の具体的内容(3)②
139	17	削除	まなと、ひびき、かんなのセリフのあとの表について、トライ1の表で確認できるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
141	14～16	変更	ひびき、みかのセリフのあとの表を削除し、ひびきのセリフを次のように変更した。 ひびき「xの値が2倍、3倍になると、yの値はようになるだろう。$x=-1$、$y=-12$を基準にしてみるとどうかな。」	編集の具体的内容(3)①
143	図	変更	(Q)のグラフ用紙は、触って目盛りを確認できるように、1目盛りを2とした。また、本文の「かき入れましょう」を「印しましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)①③
144	図	削除	トライ1のひびきとみかのセリフのあとのグラフについて、セリフと同じ内容であるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
145	図2	削除 変更	問1について、グラフ用紙を削除した。また、「下の座標平面上にかき入れましょう。」を「考えましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)①③
146	3	変更 削除	Noteのグラフを削除し、次のように文章化した。 (ノート) 反比例のグラフをかくときには、点をなめらかに結ぶようにし、座標軸と重ならないように気をつけてかく。	編集の具体的内容(3)①
146	図11	削除 変更	問3はグラフ用紙を削除した。また、「かき入れましょう。」を「考えましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)①③
147	図8	削除 変更	2の問題はグラフ用紙を削除した。また、「かき入れましょう。」を「考えましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)①③
148	写真	削除	子どもの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①

148	図	変更	キャップ 2 kg ワクチン 1 人分になるという図を削除し、「キャップ 2 kg がワクチン 1 人分に」という言葉に変更した。	編集の具体的内容(3)①
148	9	追加	表やグラフの方眼の前に、次の文章を追加した。 A 中学校、B 中学校、C 中学校が回収したキャップの個数と重さを表 19 と図 18 にまとめた。	編集の具体的内容(3)①
148	図	変更	グラフ用紙の目盛りは、触って読み取りやすいよう、x 軸は 2000 刻みとした。 以下、原典教科書 p 149 の図も同様に変更した。	編集の具体的内容(3)②
149	7	変更	かんなのセリフのあとの表を削除し、かんなのセリフに次の文章を追加した。 かんな「A 中学校を基準にして考えてみると、B 中学校が回収した個数と重さは約 2 倍、C 中学校が回収した個数と重さは約 5 倍になっていることが分かったよ。」	編集の具体的内容(3)①
150	絵	削除	電子レンジ調理時間表示、電子レンジの絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
151	絵	削除	例 1 の再生速度表示の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
152	絵	削除	問 2 の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
152	図	変更	問 2 のグラフ用紙について、情報量を減らすため、方眼を省略し、 $x = 10$, $x = 15$, $y = 500$, $y = 550$, $y = 600$, $y = 1200$ のみを裏線で入れた。 また、x 軸は 5 分刻み、y 軸は 50m 刻みに目盛りを入れた。	編集の具体的内容(3)②
153	絵	削除	(考えよう)において、地震の揺れの様子の絵と緊急地震速報の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
155	2	変更	「次の表の空らんをうめましょう。」を「次の表の(ア)～(ケ)に当てはまる数を答えましょう。」に変更し、表の中の□を(ア)～(ケ)に変更した。	編集の具体的内容(3)③
155	図	変更	3 の図について、縦 5 m、横 3 m の長方形部分のみの図とした。	編集の具体的方針(3)①
156	図	削除	2.0 のランドルト環の実際の大きさの図は、点図化が困難な小ささであるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
157	図	変更	垂直な 2 直線、平行な 2 直線の図について、直線②、③が水平になるよう向きを変更した。	編集の具体的内容(3)① ②
157	18 20	変更	「かき入れましょう」を「考えましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
158	3	追加	先生のセリフの前に、次の文を追加した。	編集の具体的内容(3)①

			みかさん，かなさん，まなとさんは，地図や写真を見て直線を探しています。	
158	絵	削除 変更	子午線を通る12市の説明とマンホールの絵を削除し，次のようにルーのセリフを入れた。 ルー「子午線が通る市は，北から順に京丹後市，豊岡市，福知山市，丹波市，西脇市，加東市，小野市，三木市，神戸市（西区），明石市，淡路市，和歌山市（友が島）の12市があるよ。」	編集の具体的内容(3)①
159	写真	削除 変更	まなとのセリフのあとの写真を削除し，まなとのセリフを次のように変更した。 まなと「まっすぐにのびている道路や線路を見つけたよ。猿払村道エサヌカ線（北海道宗谷郡）は牧草の中をまっすぐに道路が伸びていて，JR 中央線中野駅周辺（東京都中野区）では東西まっすぐに線路が伸びているよ。」	編集の具体的内容(3)①
160	図	変更	トライ1の図について，直線①との関係を捉えやすいよう，直線①を水平になるように向きを変更した。また，「図で」を「図3のように3点A，B，Cと直線①をかき」に変更した。 まなととかなのセリフのあとの図についても同様に図の角度を変更した。	編集の具体的内容(3)① ②③
163	図	変更	トライ2の図について，複数の直線間にかかれた，黒塗りされた四角は，視覚的な錯覚を誘うものであり，点図化すると読取りの妨げになるだけであるため，水平方向の直線6本に，垂直方向の直線3本が交わっている直線のための図に変更した。	編集の具体的内容(3)①
164	5 ～11 絵	変更	トライ1について，図形の移動に焦点を絞って考えることができるように万華鏡の記述を削除し，次のように変更した。また，万華鏡の模様を次のように変更した。 図18のような模様の正三角形ABCがあります。この三角形と合同な正三角形をさらに6枚用意し，1辺を共通として並べていくと，図19のような模様ができました。$\triangle ABC$をどのように動かすと，$\triangle DBC$や$\triangle EFC$の模様に重なるでしょうか。 ルー「図18と合同な三角形をつくって，その三角	編集の具体的内容(3)①

			形を動かして考えてみよう。」 図 18 	
166	8	変更	問 2 について、教科書に図をかき込むことと矢印の含まれた図の触察の困難さを考慮し、次のように変更した。また、図中の矢印は線分 PQ のみの図とした。 図 24 の $\triangle ABC$ を、点 P から点 Q の方向に線分 PQ の長さだけ平行移動させた $\triangle A'B'C'$ について説明しましょう。	編集の具体的内容(3)①③
167	1	変更	問 4 の図について、読取りやすさを考慮し、分度器の目盛りは 30° 刻みとした。また、三角形は、分度器の中心 O と三角形の各頂点を結ぶ線分が三角形の内側を通らないこと、回転移動について考える際に、移動をたどる線が三角形によって寸断されないことに配慮して変更した。	編集の具体的内容(3)①③
167	4 17	変更	問 4、問 6 の「$\triangle A'B'C'$ をかきましよう」を「$\triangle A'B'C'$ について説明しましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
168	7	変更	問 7 の「直線を図にかき入れましよう」を「直線について説明しましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
168	13	変更	問 8 の「図をかきましよう」を「図について説明しましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
168	9 図	変更	問 8 の図について、目盛りの間隔を読み取りやすい大きさにした上で、1 ページ内に収めるために図形を簡略化して点図にした。また、矢印は矢があることで、触って向きと大きさを捉えづらくなるため、矢印 PQ を線分 PQ で表し、(1)の「矢印 PQ の方向に」を「点 P から点 Q の方向に」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
169	絵	削除	問 9 の麻の葉の絵を削除し、ひし形 A とひし形 B を中心とした部分のみ点図化した。	編集の具体的内容(3)①
169	図	変更	2 について、図中の矢印 BO を線分 BO とし、(1)の「矢印 BO の方向に」を「点 B から点 O の方向に」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
170	絵	変更	島の絵について、情報が多すぎるため、そのまま点図にしても必要な情報を読取ることができない。そのため、島の輪郭と 4 点 A, B, C, D のみを点図とし、その他の情報は削除した。また、点 D の小	編集の具体的内容(3)①

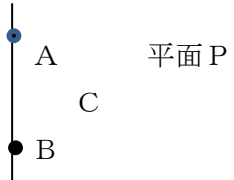
			島は他の陸地とつなげ、半島にした。	
171	図	追加	条件(1)～(3)をかき込んでいくことができないため、原典教科書 p 170 の図に条件を 1 つずつ加えた図を入れた。それらの図を利用して、3 つの宝の位置を図上で考えられるようにした。	編集の具体的内容(3)①
171	絵	削除	剣、盾、鏡の絵を削除した	編集の具体的内容(3)①
171	10	変更	「鉛筆」を「印を付けるための道具」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
171	絵	変更	たこ形マーカーの絵について、輪郭のみの図とした。たこ形 P Q R S はそのまま点図化した。	編集の具体的内容(3)①
171	写真	削除	たこ形マーカーを使う写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
171	19	変更 削除	トライ 1 について、巻末のたこ形マーカーを活用する課題であるが、指導時に合同な図形を用意することを代替の手段とし、次のように変更した。 図 37 のたこ形マーカーと合同な図形をつくって、その図形を地図にあてて条件を満たす位置を考え、宝が隠された場所を見つけましょう。	編集の具体的内容(3)① ③
172	図	変更	作図を説明する図を削除し、次のようにルーのセリフを追加した。 ルー「線分の長さを移すときには、その線分の長さにコンパスをひらけばいいね。」	編集の具体的内容(3)①
173	図	変更	かんたとひびきのセリフのあとの図を、次のような図で表し、どちらのセリフにおいてもこの図を参照するようにした。 	編集の具体的内容(3)①
174	6	変更	問 1 の「図において」を「図 42-1, 2 のように線分 A B をかき」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
174	図	変更	角の二等分線に関する図について、二等分線 O P が垂直になる向きにすると、左右対称を意識することで、二等分された角が同じ大きさであることが実感できるため、角の二等分線 O P が垂直になるよう	編集の具体的内容(3)① ② 二等分線を表す図は、原典教科書の向きでかかれ

			に図の角度を変更した。	ることの方が多いため、 段階を追って向きを変更 していくことも必要である。
175	図 6	削除 変更	トライ 2 の図について、$\angle AOB$を表す図のみとし、まなのセリフのあとの図を削除した。それに 伴い、まなのセリフに次のように変更した。 まなと「たこ形マーカーを使って$\angle AOB$の二等分線がひけそうだよ。図 37（原典教科書 p171 のたこ形マーカーのこと）と合同な図形を図 45 にあててみよう。」	編集の具体的内容(3)① ③
176	図	変更	四角形ODECの図について、対角線OEが水平になるように図の角度を変更し、OEが $\angle O$ を二等分していることを確認しやすいようにした。	編集の具体的内容(3)① ②
176	7	変更	問 2 の(1)(2)の図について、作図する二等分線が垂直になるようそれぞれの図の向きを変更した。また、「図において」を「図 48-1～3 のように $\angle AOB$ をかき」に変更した。	編集の具体的内容(3)① ③
177	図	変更	トライ 3 の図について、直線 l が水平になるように向きを変更した。	編集の具体的内容(3)① ②
177	図 6	削除 変更	たこ形マーカーの使い方を示した図を削除し、ひびきのセリフを次のように変更し、たこ形マーカーと合同な図形を活用することの説明を追加した。 ひびき「ここでもたこ形マーカーが使えるそうだよ。図 37（原典教科書 p171 のたこ形マーカーのこと）と合同な図形を図 51 にあててみよう。」	編集の具体的内容(3)① ②
178	15	変更	問 3 の問題文の前に「図 55 のように点 P と直線 l をかき、」を追加した。	編集の具体的内容(3)① ③
179	2	変更	問 4 の「右の図において」を「次の図 56 のように 3 点 A, B, C をかき」に変更した。	編集の具体的内容(3)① ③
179	図	変更	問 5 の図について、原点教科書 p170 の、島の輪郭と 4 点のみ記載した図に、点 E を追加した図を示した。	編集の具体的内容(3)① ③
180	3	変更	1 の問題文の前に「図 58 のように線分 OA をかき、」を追加した。	編集の具体的内容(3)① ③
180	8	変更	2 の「図において」を「図 59 のように線分 AC, OB をかき」に変更した。	編集の具体的内容(3)① ③
180	16	変更	3 の「図の $\triangle ABC$ について」を「図 60 のように $\triangle ABC$ をかき」に変更した。	編集の具体的内容(3)① ③

181	図	変更	円の半径を示した図について、触って確認する際のわかりやすさの観点から、右側にかかれている半径を12時と3時の方向にひくことに変更した。 同様の観点から、弦ABを示した図についても、弦ABが水平になるように図の角度を変更した。	編集の具体的内容(3)①②
181	図	削除	(Q)の円Oの図を削除した。	編集の具体的内容(3)① 実際に円の形に切った紙などを使って考えるとよい。
182	図	変更	円の弦の性質に関する図について、直径が対称の軸となっていることを触って確認しやすいように、直径が12時から6時の位置となるように図の向きを変更した。	編集の具体的内容(3)①②
182	6～7	変更	問1の「直径を求めましょう」を「直径の求め方を説明しましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)①③
184	図	変更	直線 l を点Pの方向に動かす図について、直線の移動を触って確認しやすいように移動中の直線を1本に減らした。	編集の具体的内容(3)①
184	12	変更	問3の「図において」を「図71のように円Oをかき」に変更した。	編集の具体的内容(3)①③
185	図	変更	外接円と外心および内接円と内心の図において、三角形と円を触って確認しやすいよう、それぞれの図で円を2つに減らした。	編集の具体的内容(3)①
186	14	変更	2の「図において」を「図76のように点A、Bと直線 l をかき」に変更した。	編集の具体的内容(3)①③
186	17	変更	3の「図の」を「図76のように点A、Bと直線 l をかき」に、「図形を、ノートに作図しましょう。」を「図形の作図をしましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)①③
187	11	変更	2の「点Cがあります。」を「点Cをかき、」に変更した。	編集の具体的内容(3)①③
188	図	変更	学んだことを活用しようの図について、図の中の位置を明確にするため、頂点や中点に適宜名前を付け、折る手順を次のように表した。 正方形の折り紙を次の1.～5.の手順で3回折り、その状態で紙の一部分を切り落とします。 1. 正方形の折り紙ABCDの辺AD、BCの中点をそれぞれE、Fとし、点C、Dがそれぞれ点B、Aと重なるように線分EFで折り曲げる。 2. 長方形ABFEの辺AB、辺EFの中点をそれぞれ	編集の具体的内容(3)①

			ぞれG, Hとし, 点B, Fがそれぞれ点A, 点Eと重なるように線分GHで折り曲げる。 3. 正方形AGHEの点Gが点Eに重なるように線分AHで折り曲げる。 4. $\triangle AHE$を, 図中の線①で切る。 5. 4. で切った紙を開くと5. のようになる。	
189	図	変更	直方体, 角柱, 円柱の見取図を, 上から見た図と正面から見た図で表した。 以下, 見取図は原則, 上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的内容(3)①
190 191	写真 1	削除 変更	建物の写真を削除し, 先生とかんなのセリフ, 本文を次のように変更した。 日本全国を探すと, 色々な形の建物を見つけることができます。 先生「いろいろな形の建物を探してみましょう。」 かな「次のア。～オ。の建物を見つけました。円柱や球の建物もありました。」 ア. 仁摩サンドミュージアム(島根県大田市) 上から見ると四角形, 正面から見ると三角形の形 イ. 青森県観光物産館アスパム(青森県青森市) 上から見ると四角形, 正面から見ると三角形の形 ウ. 福井県立恐竜博物館(福井県勝山市) 上から見ると円, 正面から見ると三角形の形 エ. 岡山シンフォニーホール(岡山県岡山市) 上から見ると円, 正面から見ると四角形の形 オ. 名古屋市科学館(愛知県名古屋市) 上から見ると円, 正面から見ると円の形	編集の具体的内容(3)①
190～ 191	図	変更 削除	トライ1の7種類の見取図について, 上から見た図と正面から見た図で表した。また, みかとまなのセリフの横の囲みを削除し, 次のように表した。 (みかの考え) グループ1…ア. エ. カ. キ. グループ2…イ. ウ. オ. (まなの考え) グループ1…ア. イ. カ. グループ2…ウ. エ. キ グループ3…オ.	編集の具体的内容(3)①
192	図	削除	原典教科書 p190 と同じア. ～キ. の図形の見取図を削除した。	編集の具体的内容(3)①

192～ 193	図	削除	文章中に挿入されているア．～キ．の図形を表す小さな見取図を省略し，記号のみで表した。	編集の具体的内容(3)①
192	図	変更 削除	三角柱の見取図を削除し，底面と側面，頂点など立体の構成を確認するために，上から見た図と正面から見た図および展開図で表した。原典教科書 p193 の四角錐と円錐についても，同様に変更した。	編集の具体的内容(3)①
193	図	変更	問2の図について，上から見た図の形をそろえ，正面から見た図の特徴から立体の形を判断するようにした。	編集の具体的内容(3)①
194	図	削除 変更	正多面体の見取図を削除し，「次の5種類の立体は，どれも正多面体である。」を次のように変更した。 次の正四面体，正六面体（立方体），正八面体，正十二面体，正二十面体の5種類の立体は，どれも正多面体である。 ルー「それぞれの正多面体の模型をさわってみよう。」	編集の具体的内容(3)①
194	図	変更	問6の見取図について，上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的内容(3)①
194	15	変更	正多面体の図を削除したことに伴い，「正多面体は，上の図の5種類しかないことがわかってい る。」を次のように変更した。 正多面体は，正四面体，正六面体（立方体），正八面体，正十二面体，正二十面体の5種類しかないことがわかっている。	編集の具体的内容(3)①
195	9	変更	「右の図のように」を，次のように変更した。また，いくつかの平面を表した図を，あとの図に変更し，実際に教科書を折り曲げる活動を通して様々な平面ができることを確認できるようにした。 平面P上の直線ABを折り目として，ページを折り曲げましょう。折り曲げたことで，2点A，Bをふくむ平面Pとは異なる，新たな平面Qをつくることができます。2点A，Bをふくむ平面はいくつもあるが，…（以下，変更なし）	編集の具体的内容(3)① ③ 図の見方を加えることで，もともとの平面Pとは異なる新たな平面をイメージしやすくした。

			図 10 	
195	写真	削除	3本の指で平面を支える写真とカメラの三脚の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
196	写真	削除 変更	(Q)のア.～エ.の写真を削除し、次のように表した。また、生徒たちのセリフで写真を指す際は、記号ではなく、写真にうつされた物の名称に変更した。 ア. ものほしざお イ. プレートたて ウ. テーブル エ. スマートフォンスタンド	編集の具体的内容(3)①
197	図	変更	例1の立方体の見取図について、上から見た図と正面から見た図に変更した。	編集の具体的内容(3)①
197	写真 変更	削除	立体交差の写真を削除し、次のようなルーのセリフを追加した。 ルー「立体交差はねじれの位置にあるね。」	編集の具体的内容(3)①
198	図	削除 変更	まとめの図を削除し、次のように文章で表した。 同じ平面上にあるとき 1 1点で交わる 2 平行(交わらない) 同じ平面上にないとき 3 ねじれの位置(交わらない)	編集の具体的内容(3)①
198	図	変更	問2の三角柱の見取図について、上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的内容(3)①
198	図	変更 削除	直線と平面の位置関係を表す図について、立方体 $ABCD-EFGH$ を上から見た図と正面から見た図で表した。また、直線 l と平面 P が垂直であることを表す図については、上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的内容(3)①
199	図	削除	まとめの図について、空間の位置関係を平面図からイメージすることは難しいため、言葉のみとして図を削除した。	編集の具体的内容(3)① 指導の際は、紙と棒などを用いて確認するとよい。

199	図 写真	変更 削除	直線 l と平面 P の関係を表した図について、上から見た図と正面から見た図で表した。また、三角定規を用いて調べている写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
199	図	変更	問3の三角柱の見取図について、上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的内容(3)①
200	写真	削除 変更	(Q)の写真を削除し、次のようにルーとスーのセリフを追加した。 ルー「本の複数ページに付箋を貼ったとき、付箋同士の関係はどうだろう。」 スー「和紙の天日干しでは、太陽の光がよく当たるように板を斜めにして、地面の上に置いているよ。板と地面はどんな関係だろう。」	編集の具体的内容(3)① 言葉から状況をイメージすることは難しい可能性があるため、実際に本に付箋を貼ってみたい、和紙の天日干しの状況を手元に作ってみたいすることが望ましい。
200	図	変更	まとめの2平面の位置関係を表す図について、平面 P 、 Q を切った断面図で表した。	編集の具体的内容(3)①
201	図	変更 削除	2平面の位置関係を表す図について、平面 P 、 Q を切った断面図とし、2平面 P 、 Q に対して交線 l の位置を示した図と、2平面 P 、 Q のなす角を示した図の2つに分けて表した。	編集の具体的内容(3)①
201	図	変更	問4、問5の見取図について、上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的内容(3)①
201	図	変更	2平面にそれぞれ含まれる2直線の位置関係を表した図について、平面 P 、 Q 、 R を切った断面図で表した。	編集の具体的内容(3)①
202	図	変更	(Q)の図について、点 A から平面 P までの長さを表した図を、平面 P を切った断面図で表し、点 A から平面 P までの長さが左から右にかけて長くなるようにした。 また、平面 P に含まれる点 A から平面 Q までの距離を表した図は、平面 P 、 Q を切った断面図で表した。	編集の具体的内容(3)①
202	図	変更	四角錐、円錐、三角柱、円柱の見取図について、上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的内容(3)①
202	11	変更	問1を次のように変更し、図を次のように表した。 図25は、 $AB = 7\text{ cm}$ 、 $BC = 4\text{ cm}$ 、 $BD = 3\text{ cm}$ の直方体 $ABCE - FDGH$ から切り取ってつくった三角錐です。次の高さを求めましょう。 (上から見た図と正面から見た図)	編集の具体的内容(3)① ③

203	2 写真	変更	(Q)の写真を上から見た図と正面から見た図に変更した。また、本文を次のように変更した。 図 26 は、同じ形の食パンやハムを何枚も積み重ねてできたものです。どんな立体といえますか。	編集の具体的内容(3)①
203	図	変更	面や線が動いて立体を作っていく様子を表した図は、上から見た図と正面から見た図で表した。なお、線が動く様子を表す図には、線分 A B を意識できるようにした。	編集の具体的内容(3)①
204	図	変更 削除	回転体に関する図について、長方形や直角三角形を回転させている図を削除し、回転の軸の直線 l と回転させる図形のみを表した。	編集の具体的内容(3)① 実際に紙を回してみたり、ポップアップ教材を作成して確認してみたりするとよい。
205	写真	削除	壺、気球の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
205	12	変更	問 4 について、見取図をかくことはできないため、「回転体の見取図をかきましょう。」を「回転体がどのような立体になるか考えましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
206	2 ～ 4	変更 削除	(Q)を次のように変更し、それに伴い(Q)ではなく、本文の扱いとした。また、ルーのセリフを削除した。 次の図 34 は、フライパンを 3 つの方向から見たときの形を表しています。	編集の具体的内容(3)③
206	図	削除	見取図と投影図の関係を表す図について、投影図のみを示した。	編集の具体的内容(3)①
207	1 ～ 4 図	変更 削除	問 5 を次のように変更し、図を削除した。 次の立体の投影図がどのようなになるか、説明しま	編集の具体的内容(3)① ③

			しょう。 (1)底面が1辺3 cm, 高さが4 cmの正四角柱 (2)底面の半径が2 cm, 高さが4 cmの円すい	
207	9 ～10	削除	問6において, 「また, その立体の見取図をかき ましょう。」を削除した。	編集の具体的内容(3)③
207	11 ～15 図	変更 削除	問7を次のように変更し, 見取図を削除した。 図37の投影図について, どんな立体か, かな さんとまなとさんが考えたところ, 次のようになり ました。2人の考えについて, 気づいたことをまと めましょう。 かなの考え 直方体 まなとの考え 底面が直角三角形の三角柱を, 横 に倒したもの	編集の具体的内容(3)①
208	図	変更	1の見取図について, 上から見た図と正面から見 た図で表した。	編集の具体的内容(3)①
208	13	変更	2の「回転体の見取図をかきましょう。」を「回 転体について説明しましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
208	15	変更	3の「投影図をかきましょう。」を「投影図につ いて説明しましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
209	図	削除 変更	三角柱や円柱の底面や高さはすでに学んでいる内 容であるため, 見取り図を削除し, またルーのセリ フを次のように変更した。 ルー「底面が垂直方向に平行に動いたと考えられる ね。」	編集の具体的内容(3)①
210	写真	変更 削除	容器に水を入れている写真を削除し, 正面から見 た図で表した。それに伴い, ひびき, みか, 先生の セリフを次のように変更した。 ひびき「2つの容器を正面から見ると長方形と二等 辺三角形だから, 2階ということになるのかな。」 みか「1回入れ終わった段階の図を見ると, 2回よ りは多くなりそうだよ。」 先生「実験を続けると, 円柱の容器は3回目に水で いっぱいになりました。この結果から, どのような ことがいえるのでしょうか。」	編集の具体的内容(3)①
211	図	削除	まとめの図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
211	写真 5～ 11	削除 変更	角柱を分割している写真を削除した。 まなとのセリフを削除し, ルーのセリフを次のよ うに変更した。	編集の具体的内容(3)① ③

			ルー「角柱と角錐の体積の関係は角柱を分解して確かめることもできるよ。」	
211	図	変更	例2の円錐の見取図について、上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的内容(3)①
212	図	変更	三角柱と円柱を切り開き、展開図にしていく様子を表した図について、それぞれ、立体を上から見た図と正面から見た図および展開図を示した。それに伴い、「下の三角柱の展開図は、次のようにかくことができる。」を「図44 1. 2. は三角柱の上から見た図と正面から見た図および展開図である。」に変更した。 原典教科書 p213 の正四角錐についても同様に表した。 また、それぞれの立体の頂点に記号をつけた。	編集の具体的内容(3)①
212	5	変更	問1の「辺の長さをすべてかきましょう。」から「辺の長さをすべて答えましょう。」に変更した。 原典教科書 p213 の問3も同様に変更した。	編集の具体的内容(3)①
214	図	削除	トライ2の円錐の見取図を削除し、3種類の展開図のみとした。	編集の具体的内容(3)①
214	図	変更	先生のセリフの右の回転体の見取図は、軸と回転する平面のみで表した。	編集の具体的内容(3)①
214～ 215	写真	削除	クラッカーと扇子の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
215	図	削除	円錐を展開していく様子を表した図を削除し、円錐の展開図のみを表した。	編集の具体的内容(3)①
216	図	削除	(Q)の円の図を削除し、6つのおうぎ形のみ示した。	編集の具体的内容(3)①
217	図	変更	おうぎ形の中心角と弧の長さや面積の関係を表す図について、2つのおうぎ形のみを左右対称の位置に示し、おうぎ形の中心角などの大きさが等しいことを比べやすいようにした。	編集の具体的内容(3)①
217	図	削除	例1のおうぎ形について、言葉で説明されているため削除した。	編集の具体的内容(3)①
218	図	削除	例2のおうぎ形について、言葉で説明されているため削除した。	編集の具体的内容(3)①
220	図 6	変更	問1の四角柱と三角柱の見取図を展開図で表し、本文を次のように変更した。 (1)底面が縦5 cm, 横6 cmの長方形で高さが8 cmの四角柱	編集の具体的内容(3)①

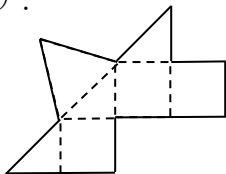
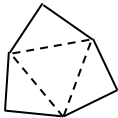
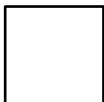
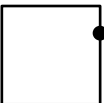
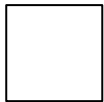
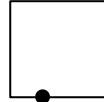
			(2)底面が底辺4 cm, 高さ3 cm, 斜辺5 cmの直角三角形で高さが9 cmの三角柱	
221	図 1	変更	問3の四角錐の見取図を展開図で表し, 本文を次のように変更した。 底面が1辺3 cmの正方形で, 側面の二等辺三角形の高さが4 cmの正四角錐について, 次の面積を求めましょう。	編集の具体的内容(3)①
221	図	削除	例2の円錐の図について, 本文から図形をイメージできること, 解答例に展開図があることから削除した。	編集の具体的内容(3)①
221	図	変更	問5の円錐の見取図は, 上から見た図と正面から見た図に変更した。	編集の具体的内容(3)①
222	写真	削除	半球の容器から円柱の容器に水を移す写真について, 言葉で説明されているため削除した。	編集の具体的内容(3)①
222	図	削除	まとめの球の図を削除した。 原典教科書 p223 のまとめについても同様に削除した。	編集の具体的内容(3)①
223	写真	変更	半球や円柱にひもを巻いている写真について, 簡略化して, 上から見た図と正面から見た図で表した。	編集の具体的内容(3)①
224	図 10	削除 変更	2について, 図を削除し, 立体の説明を次のように追加した。 (1)底面の半径が2 cm, 高さが5 cmの円柱 (2)底面の半径が3 cm, 高さが4 cm, 母線の長さが5 cmである円錐	編集の具体的内容(3)①
224	図	削除	3の図について, 問題文に言葉で説明されているため削除した。	編集の具体的な衣装(3)①
225	2 ～8 図	変更	(Q)から問1の直前までを, 次のように変更した。 図68のような2つの展開図をつかって立体をつくってみましょう。それらを組み合わせると, どんな立体ができるでしょうか。 図68 ア.  イ. 	編集の具体的内容(3)①

			図 69 の立方体 $ABCD-EFGH$ を，点 A，C，P をふくむ平面で切ると，切り口は三角形になる。 この三角形は二等辺三角形である。 立方体を平面で切ると，切り口はいろいろな図形になる。 図 69（上から見た図と正面から見た図） $D(H)$ $C(G)$  $A(E)$ $B(P, F)$ $A(D)$ $B(C)$  $E(H)$ $F(G)$	
225	11 ～15	変更	問 1 を，次のように変更した。 図 70 の立方体 $ABCD-EFGH$ について， 辺 EF 上に点 P をとる。このとき，次の 3 点を通る 平面で切ったときの切り口は，どんな図形になるか 答えましょう。 (1) 点 A，C，F (2) 点 A，C，E (3) 点 A，C，P 図 70（上から見た図と正面から見た図） $D(H)$ $C(G)$  $A(E)$ $B(F)$ $A(D)$ $B(C)$  $E(H)$ P $F(G)$	編集の具体的内容(3)①
225	16 ～22 図	変更 削除	問 2 を次のように変更し，図を削除した。 立方体を平面で切ったときの切り口が，次のよう な形になるとき，それぞれどのような平面で切れば よいか考えましょう。 (1) 五角形	編集の具体的内容(3)① ③

			(2) 六角形	
226	図	削除	「テーマを選ぶ」の右にある図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
227		変更	レポートの例について、点字で書けるように次のように変更した。 レポートの例 正四角錐の展開図の種類 1月13日 1年2組 〇〇〇〇 1. テーマを選んだ理由 正四角錐の展開図は何種類ぐらいあるか、疑問に思いました。 2. 予想 面の数が5つなので、5種類あると予想しました。 3. 調べ方 実際に展開図をつくって調べました。 4. 苦労したこと 回転させたり裏返したりすると同じ形になるものがあるので、それを数えるかどうかで迷いました。 →数えないことにしました。 5. 展開図の種類 正方形にくっつく二等辺三角形の数で分けて調べました。 1個 — 2種類 2個 — 4種類 3個 — 1種類 4個 — 1種類 6. 結果 8種類 7. 感想 正四角錐以外の立体についても、何種類の展開図がつかれるのかを調べてみたいと思いました	編集の具体的内容(3)① ③ ノートの日付と組について、原典教科書は伏字となっているが、点字の場合、メの字を伏字として用いた場合と数字ではその後のマス空けが異なるため、仮の日付、組を入れた。

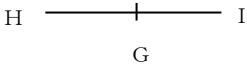
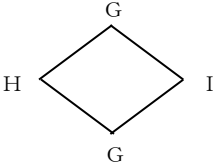
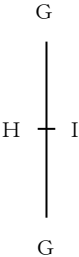
228	2	変更	1を「つねに正しいものには○を，正しくないものには×をつけましょう」を「つねに正しいものは「正しい」と，正しくないものは「正しくない」と答えましょう」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
228	17	変更	3の「回転体の見取図をかき」を「回転体について説明し」に変更した。	編集の具体的内容(3)①③
229	図7	変更	2の見取図を上から見た図と正面から見た図で表した。また，展開図は一直線のひもを意識しやすいように，原典教科書は面A E F Bを基準としているが，面E F G Hを基準として示した。 また，「展開図をかき入れましょう。」を「展開図で考えましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)①③
229	図9	削除 変更	3の図を削除し，問題文を次のように変更した。 底面の半径が5 cmの円錐をたおしたものを，頂点を中心にして平面上で転がしたところ，3回転してもとの位置にもどりました。(以下，変更なし)	編集の具体的内容(3)①③
230	絵 写真 図	削除	絵と写真，図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
230	18	変更	長さが書かれた図を削除したことに伴い，「それぞれ右の図のようになりました。」を「アイスクリームの容器は直径16 cm，高さ16 cmであり，アイスクリームディッシャーのアイスクリームをすくう部分は直径6 cmでした。」	編集の具体的内容(3)①
231	図	削除 変更	小学校で習ったグラフについては，図を削除し，次のように原則言葉で示した。 ア．棒グラフー量・差をとらえやすい イ．折れ線グラフー変化をとらえやすい ウ．円グラフ，帯グラフー割合をとらえやすい エ．ドットプロット，柱状グラフー散らばりの様子をとらえやすい	編集の具体的内容(3)①
232	写真	削除	電車の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
234	絵	削除	ルーのセリフに付随した，表計算ソフトの画面の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
238	図	変更	ヒストグラムは，柱状グラフの情報を確実に読み取ることを目的に，隣接する柱状グラフ境界線を共有させず，二重線とした。 以下，ヒストグラムの図は，同様に変更した。	編集の具体的内容(3)②
238	表	削除	A市の最高気温の度数分布表について，原典教科	編集の具体的内容(3)①

			書 p237 でも掲載されているため、その表を参照するようにした。																	
238	8	変更	原典教科書では、問3において自分で作成したB市の度数分布表をもとにヒストグラムを作成する課題となっているが、点字では表や図を見やすいレイアウトで正確にかくことは難しいため、完成した度数分布表を掲載した。その上で、問3を次のように変更した。 ○ページの問2でつくったB市のデータの度数分布表は、表5のようになりました。表6からヒストグラムを考えてみましょう。 表5 B市の最高気温の度数分布表 <table><tr><th>階級（℃） （以上）～（未満）</th><th>度数（日）</th></tr><tr><td>6～9</td><td>6</td></tr><tr><td>9～12</td><td>12</td></tr><tr><td>12～15</td><td>16</td></tr><tr><td>15～18</td><td>9</td></tr><tr><td>18～21</td><td>6</td></tr><tr><td>21～24</td><td>1</td></tr><tr><td>計</td><td>50</td></tr></table>	階級（℃） （以上）～（未満）	度数（日）	6～9	6	9～12	12	12～15	16	15～18	9	18～21	6	21～24	1	計	50	編集の具体的内容（3）③
階級（℃） （以上）～（未満）	度数（日）																			
6～9	6																			
9～12	12																			
12～15	16																			
15～18	9																			
18～21	6																			
21～24	1																			
計	50																			
239	図	追加	（Q）の活動を行うにあたり、自分で作成したB市のヒストグラムを参照することになっているが、正確なヒストグラムを使って考えられるよう、（Q）の前に次のようにひびきのセリフとB市のヒストグラムを追加した。 ひびき「B市の最高気温のヒストグラムは、図3のようになったよ。」 *この後、図3としてB市のヒストグラムを掲載	編集の具体的内容（3）③																
240	3 図	変更	ひびきのセリフを次のように変更した。また、A市とB市のヒストグラムを重ねた図では、A市は特にぬりつぶさず、B市を裏点でうめた。 ひびき「A市のヒストグラムをかいてから、B市のヒストグラムを裏点でうめて重ねてみたよ。」	編集の具体的内容（3）①																
240	図	変更	ヒストグラムと度数折れ線の図について、1つの図に2種類のグラフをかくと、触ってそれぞれのグラフを認識することがかなり難しくなるため、ヒス	編集の具体的内容（3）①																

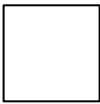
			トグラムと度数折れ線をそれぞれ示した。また、度数折れ線の作成過程がわかるように、ヒストグラムの上の辺の中点を大点とした。 以下、同種の図については、同様に変更した。	
240	23	変更	問4の「上の図にかき入れましょう。」を「考えましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
242	表	変更	例1の表について、縦置き状態で1つの表に収めることができないため、A市とB市に分けて2つの表とした。	編集の具体的内容(3)②
243	4 図	変更 追加	問2について、A市の相対度数の分布の折れ線グラフがかかっている図に、B市の折れ線グラフをかき入れる課題であるが、すでにほかのグラフがかかっている状態で、点をとっていくことは難しい。また、点字使用生徒が独力で折れ線グラフを完成させることはできない。そのため、問2を次のように変更し、点をとっていくためのグラフ用紙のみを掲載した。 B市の相対度数の分布を折れ線グラフに表わしたものを、図7で考えましょう。	編集の具体的内容(3)① ③
243	12 図	変更	トライ2のひびきのセリフを次のように変更し、タブレット端末にグラフを表示しているイメージ図については、軸に目盛り等を追加し、きちんとしたグラフに変更した。 なお、この図は問2の答えでもあるため、A市の相対度数の分布の折れ線グラフと同じ大きさとし、グラフを触りやすいよう、方眼は省略した。 ひびき「A市とB市の相対度数の分布を表したグラフを、1つの図にしてみたら、図9のようになったよ。」	編集の具体的内容(3)①
244	写真	削除	パソコンの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
246	絵	削除	行列の絵を削除した。	編集の具体的内容(3)①
246	20 表	変更	みかのセリフを次のように変更し、その隣の表では度数を足した値を()に入れた。 みか「値の小さい方からその階級までの度数を順にたした値を()でかいていくとわかりやすそう。」	編集の具体的内容(3)②
247	図	変更	累積度数の折れ線グラフについて、ヒストグラムと折れ線グラフの2つの図に分けた。また、累積度数折れ線の作成過程がわかるように、ヒストグラム	編集の具体的内容(3)①

			の上の辺の右端を大点とした。	
247	11～ 16 図	変更 追加	問1を次のように変更し、累積度数折れ線を考えるための方眼を図13として追加した。 トライ1のアトラクションDのデータ(表8)について、表11に値を入れ、累積度数分布表を完成させましょう。また、それをもとにして、累積度数を折れ線グラフで表したものを図13で考えましょう。	編集の具体的内容(3)③
248	表	変更	例1の表について、縦置き状態で1つの表に収めることができないため、A市とB市に分けて2つの表とした。	編集の具体的内容(3)②
248	図	変更	累積相対度数と中央値に関する図について、3本の折れ線グラフを一度に確認することは難しいため、中学校ごとに1つずつのグラフとした。	編集の具体的内容(3)①
250	写真	削除	ペットボトルの蓋の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
251	表	変更	問1の表について、縦置き状態で1つの表に収めることができないため、「表向きになる」と「表向き以外になる」に分けて2つの表とした。	編集の具体的内容(3)②
251	図	変更	グラフの一部を省略している印について、点図では、縦軸のみを3点ほど抜くことで省略を表した。なお、方眼を表す裏線は、きちんとたどれるよう、省略していない。	編集の具体的内容(3)①
254	写真	削除	ボタンの写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
256	図	削除	PPDACサイクルの図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
258～ 259[[	写真	削除	(聞いてみよう!)のページに掲載されている写真をすべて削除した。	編集の具体的内容(3)①
260	写真	変更 削除	常寂光寺の石碑の写真を削除し、「…が紹介されています。」のあとに、次の文を追加した。 (京都府にある常寂光寺には、吉田光由の功績を称えて、塵劫記と刻まれた石碑が建立されています。)	編集の具体的内容(3)①
260	図	変更	俵杉算の図について、途中の段を簡略化して点図にした。	編集の具体的内容(3)①
261	写真	削除	入れ子の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
262	図	変更	ディオファントスの一生を表す図を、次のように変更した。	編集の具体的内容(3)①

			ディオファントス生まれる (少年時代) $1 / 6 x$ (青年時代) x 結婚 息子の誕生 息子の死 4 ディオファントス亡くなる	
263	写真	削除	しんかい 6500 の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
263	写真	削除	メンダコとタカアシガニの写真を削除し、最後に次の文章を追加した。 例えば、タコ的一种であるメンダコや、カニの一种であるタカアシガニなどです。	編集の具体的内容(3)①
264～265	図	変更	封筒の図について、図中の位置を明確にするため、頂点や中点、交点に適宜名前をつけ、長方形 ABCD とした上で、「封筒で立体を作る手順」の説明を次のように変更した。また、点字で学習する生徒は、手順の説明を読んだ後に図を見る方が理解しやすいため、説明を先に提示した。 封筒で立体を作る手順 1. 封筒を長方形 ABCD とみる。ただし、封筒の口を辺 AD とする。辺 AD、辺 BC の交点をそれぞれ E、F とし、線分 EF で折ってもどす。 2. 点 C が線分 EF 上にくるように折り曲げる。このとき、線分 EF 上の点 C の位置を点 G とする。 3. 2. で直線 BG にそってさらに折り曲げる。 4. 一度広げ、2. と 3. について、逆側も同じよ	編集の具体的内容(3)①

			うに折る。 5. 2. 3. 4. でできた折り目は点Gで重なる。 6. 点Gを通り、辺BCに平行な直線HIで切る。	
264	8 図	変更	「封筒で立体を作る手順」のあとの文章を次のよう に変更し、封筒の左右から押しつぶすイメージ図 を、あとのように切り口の様子で表した。 このあと、残った封筒（長方形HBCI）で切り 口（HI）の部分から押しつぶすようにして 立体を作ります。（図8 1. ～3. ） 図8 残った封筒を左右から押したときの切り口 の様子 1.  2. 左右から押す  3. さらに押す 	編集の具体的内容(3)①
266	写真	削除	埼玉県熊谷市の気温表示の写真を削除した。	編集の具体的内容(3)①
266	図	変更	日本の年平均気温の変化のグラフについて、原典 教科書の青線のみをグラフに示した。	編集の具体的内容(3)①
267	写真	削除	道路が冠水している写真と、嵐山の桜の写真を削 除した。	編集の具体的内容(3)①
267	15	変更	さくらの開花日に関する表について、日付を点字 の略記表示を用いた。また、桁数を揃えるため、1 桁の数の十の位には0を入れて示した。	編集の具体的内容(3)①
268	図	変更	きょうの降水確率の図について、表に変更した。	編集の具体的内容(3)①
277	図	削除	14の図について、問題文を読んでイメージできる	編集の具体的内容(3)①

			図であること、また、チャレンジ編の問題であるため、図をイメージする力も大切であることから削除した。	
279	絵	変更	例題 2 の図について、トンネルに入り始めの列車と出終わった列車を言葉で示した上で点図化した。	編集の具体的内容(3)①
279	絵	削除	15 の図について、例題 2 の図を参考に考えることができるため削除した。	編集の具体的内容(3)①
281	図	変更	7 の図について、(1)(2)の比例のグラフを示した図と、(3)(4)の反比例のグラフを示した図に分けて表した。	編集の具体的内容(3)②
282 283	図	削除	11 と 14 の図について、問題文を読んでイメージできる図であること、また、チャレンジ編の問題であるため、図をイメージする力も大切であることから削除した。	編集の具体的内容(3)①
284	4	変更	1 の「下の図の点 A, B, C について、」を「次の図 1 のように点 A, B, C をかき、」に変更した。	編集の具体的内容(3)②
284	12	変更	3 の「図をかき入れましょう。」を「図について説明しましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
284	図	変更	3 の図について、矢印 P Q を線分 P Q で表した。それに伴い、②の「矢印 P Q の方向に」を「点 P から点 Q の方向に」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
285 8	2	変更	4 と 5 の「右の図において」を「図○のように線分 A B をかき」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
285	13	変更	6 の「右の図において」を「次の図 4 のように点 A と直線 l をかき」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
286	3	変更	8 の「地点 P を作図しましょう。」を「図 6 のように 3 地点 A, B, C をかき、地点 P を作図しましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
287	4	変更	1 の「下の表にまとめましょう。」を「表 1 にあてはまる数字を考えましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
287	6	変更	2 の「右の図の正方形 A B C D を」を「図 1 の 1 辺 6 cm の正方形 A B C D において、辺 A D の中点を E, 辺 C D の中点を F とし、」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
287	20	変更	4 (1) を「回転体の立体の名前を答えましょう。」に変更した。	編集の具体的内容(3)③
288	図	変更 削除	6 と 8 の立体について、図を削除し、次のように文章で表した。 6 (1) 半径 7 cm, 高さ 10 cm の円柱から、半径 3 cm,	編集の具体的内容(3)①

			高さ 10 cm の円柱をくりぬいた立体 (2) 半径 3 cm, 高さ 4 cm の円柱の上に, 半径 3 cm の半球をくっつけた立体 8 (1) 底面の半径が 4 cm, 母線の長さが 6 cm である立体 (2) 半径 5 cm の半球	
289	3 ~ 6	変更	例題 1 を次のように変更した。 図 4 のような, 1 辺が 6 cm の立方体 $ABCD-EFGH$ を, 点 A, C, F を通る平面で切ったときの大きい方の立体の体積を求めましょう。 $A(E) \quad D(H)$  $B(F) \quad C(G)$	編集の具体的内容(3)③による。 切り取ってできた立体を, 上から見た図や正面から見た図で表しても立体を復元することが難しいため, 立方体から切り取ることにした。
289	16 ~ 20	変更	9 を次のように変更した。 図 5 のような, $AB = 4$ cm, $BC = 6$ cm, $AE = 3$ cm の直方体 $ABCD-EFGH$ を, 点 A, C, F を通る平面で切ったときの大きい方の立体の体積を求めましょう。	編集の具体的内容(3)③
289	21 ~ 23	変更	10 を次のように変更した。 図 6 のような, 1 辺が 9 cm の立方体 $ABCD-EFGH$ の, 点 A, C, F, H を頂点とする三角錐の体積を求めましょう。	編集の具体的内容(3)③
290	19	変更	2(1)の「つくみましょう。」を「考えましょう。」に変更した,	編集の具体的内容(3)③
290	図	変更	3 の図について, 縦は 5 ままで収まるため, 5 ままでとした。	編集の具体的内容(3)②
292 ~ 299		変更	「中学 1 年までのまとめ」において, 算数の内容を章の順序ですべて書いたあとに, 1 年の内容を章の順序で掲載した。	編集の具体的内容(3)①
292	図	削除	絶対値と数の大小に関する図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
294	図	削除	等式の性質に関する図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
294	図	削除	比例式の性質に関する図式について, 言葉での説明で十分であるため, 削除した。	編集の具体的内容(3)①
295	図	削除	座標に関する図を削除した。	編集の具体的内容(3)①
295	図	追加	比例のグラフと反比例のグラフに関する図に, 次の文章に追加した。	編集の具体的内容(3)①

			比例のグラフ 1. $a > 0$ のとき xが増加すると、yも増加する。 2. $a < 0$ のとき xが増加すると、yは減少する。 反比例のグラフ 1. $a > 0$ のとき グラフは右上と左下にある。それぞれについて、xが増加するとyは減少する。 2. $a < 0$ のとき グラフは左上と右下にある。それぞれについて、xが増加するとyも増加する。	
296	図	削除 変更	図は基本的に言葉での説明で十分であるため、原則、削除した。 「図形の移動」については、図で表されている内容を、次の文章に変更した。 1. 平行移動 図形を、一定の方向に一定の距離だけずらすこと。 2. 回転移動 図形を、ある点Oを中心にして一定の角度だけ回すこと。 3. 対称移動 図形を、ある直線lを折り目として折り返すこと。 「三角形の内角と外角」については、文章中の記号の位置を示すために、$\triangle ABC$および線分BD、線分ACを示し、$\angle ACD$と$\angle BCE$に弧マークを付けた。	編集の具体的内容(3)①
297	図	削除	図は基本的に言葉での説明で十分であるため、削除した。 「作図」については、図で表されている内容を、次の文章に変更した。 1. 線分ABの垂直二等分線の作図 (1)点Aを中心とする適当な半径の円をかく。 (2)点Bを中心として、(1)と同じ半径の円をかき、2つの円の交点をC、Dとする。 (3)直線CDをひく。	編集の具体的内容(3)①

			2. $\angle AOB$ の二等分線の作図 (1) 点 O を中心とする適当な半径の円をかき、半直線 OA、OB との交点を C、D とする。 (2) 2 点 C、D をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2 つの円の交点の 1 つを E とする。 (3) 半直線 OE をひく。 3. 直線 l 上にない点 P を通る垂線の作図 (1) 点 P を中心とする適当な半径の円をかき、直線 l との交点を A、B とする。 (2) 2 点 A、B をそれぞれ中心として、同じ半径の円をかき、2 つの円の交点の 1 つを Q とする。 (3) 直線 PQ をひく。 4. 直線 l 上にない点 P を通る垂線の作図 (1) 直線 l 上に適当な点 A をとり、点 A を中心とする半径 AP の円をかく。 (2) 直線 l 上に適当な点 B をとり、点 B を中心とする半径 BP の円をかく。2 つの円の交点のうち、P でない点を Q とする。 (3) 直線 PQ をひく。	
298	図	変更	「2 直線の位置関係」について、図を削除し、「右の 3 つの場合がある。」を削除した。それに伴い、文末に次の文章を追加した。 空間における 2 直線の位置関係には、次の 3 つの場合がある。 1. 1 点で交わる 2. 平行 3. ねじれの位置	編集の具体的内容(3)①
298	図	削除	「角錐の展開図」「円錐の展開図」以外の図は、言葉での説明で十分であるため、削除した。 なお、正多面体の名称は、次のように文章中に挿入した。 正多面体は、正四面体、正六面体、正八面体、正十二面体、正二十面体の 5 種類しかないことがわかっている。	編集の具体的内容(3)①
299	図	削除 変更	図は基本的に言葉での説明で十分であるため、削除した。 「ヒストグラム、度数折れ線」のみ、図で表されている内容を、次の文章に変更した。	編集の具体的内容(3)①

			度数分布表を柱状グラフで表したものをヒストグラムという。 ヒストグラムの各長方形の上の辺の中点を結んでできる折れ線グラフを度数折れ線という。	
306	図	変更	「6 空間図形」「問題B」の3の答えについて、図の実践部分の両端をE，Fとし、「図の実践部分」を「図7の線分EF」に変更した。	編集の具体的内容(3)①
306	図	追加	「6 空間図形」「活用」の答えについて、図に次の文を追加した。 図8の実践部分が残るように切ればよい。	編集の具体的内容(3)①
306	図	変更	「6－1の確認問題」の3の答えを、次のように文章に変更した。 (1)底面の半径が3 cm，高さが5 cmの円すいを上下逆さにしたような立体 (2)底面の半径が6 cm，高さが10 cmの円すいの上部から，底面の半径が3 cm，高さが5 cmの円すいを切り取った立体 (3)底面の半径が4 cm，高さが6 cmの円すいを上下逆さにしたものに，半径4 cmの半球をくっつけた立体	編集の具体的内容(3)③
307	図	変更	「6 空間図形」「問題A」の3の答えを，次のように文章に変更した。 (1)底面の半径が3 cm，高さが5 cmの円錐を上下逆さにした立体 (2)底面の半径が6 cm，高さが10 cmの円錐の上部から，底面の半径が3 cm，高さが5 cmの円錐を切り取った立体 (3)底面の半径が4 cm，高さが6 cmの円錐と半径4 cmの半球の底面同士をくっつけた立体（上が半球，下が円錐）	編集の具体的内容(3)③
307	図	変更	「6 空間図形」「問題B」の2の答えの図を，次のように変更した。	編集の具体的内容(3)③

310	図	変更	「6章 空間図形」の4(1)の答えについて、図を削除し、「円錐」とした。	編集の具体的内容(3)③